



2016年2月8日

省エネのための人的能力の育成

急速な工業化と生産性拡大が進むアジア諸国において、エネルギーをより賢く、より効率的に使用しようとの取り組みが進んでいます。アジア生産性機構（APO）はそうした取り組みを支援するために**2016年2月15～26日**に日本で**省エネルギーに関する研修コース**を開催します。APOに加盟する15か国・地域から公共・民間部門のエネルギー管理、エネルギー効率、エネルギー監査業務に従事する関係者約40名が、日本政府からの拠出金によって開催されるこの研修コースに参加する予定です。参加者は、省エネルギーを促進し、持続可能な生活様式を普及するためのベストプラクティスとノウハウに関して、日本の知見を学ぶことをめざしています。

本研修コースでは2週間にわたり、一般財団法人省エネルギーセンターの講師を招き、さまざまな対話セッションや活動が行われます。第一週のエネルギー管理に関する主要テーマについてのプレゼンテーションやクラス討論ののち、参加者は東京を出て工場見学ツアーでエネルギー効率や省エネの向上に成功した専門家の経験から学びます。見学先は千葉県の子会社ティエルブイ、株式会社日立産機システム、三重県の株式会社デンソー大安製作所、シャープ株式会社亀山工場を予定しています。

お問い合わせ先

アジア生産性機構(APO)事務局 広報担当 (山下 / 藤本)

Tel: 03-3830-0411; Fax: 03-5840-5322

メール: yyamashita@apo-tokyo.org / yfujimoto@apo-tokyo.org

ウェブサイト: www.apo-tokyo.org

アジア生産性機構(APO)について

アジア生産性機構(APO)は生産性向上を目的としたアジア太平洋地域で唯一の国際機関です。1961年の政府間協定の締結により設立されて以来、現在20の国と地域が加盟するAPOは生産性向上を通してアジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に重要な役割をはたしています。現在APOは各国生産性本部の強化および中小企業振興・地域発展の促進、イノベーション主導の生産性向上、緑の生産性の普及の3点を戦略的重点分野として事業を展開しています。